



気が強い

清楚な

人妻令嬢が

寝取られる

までの

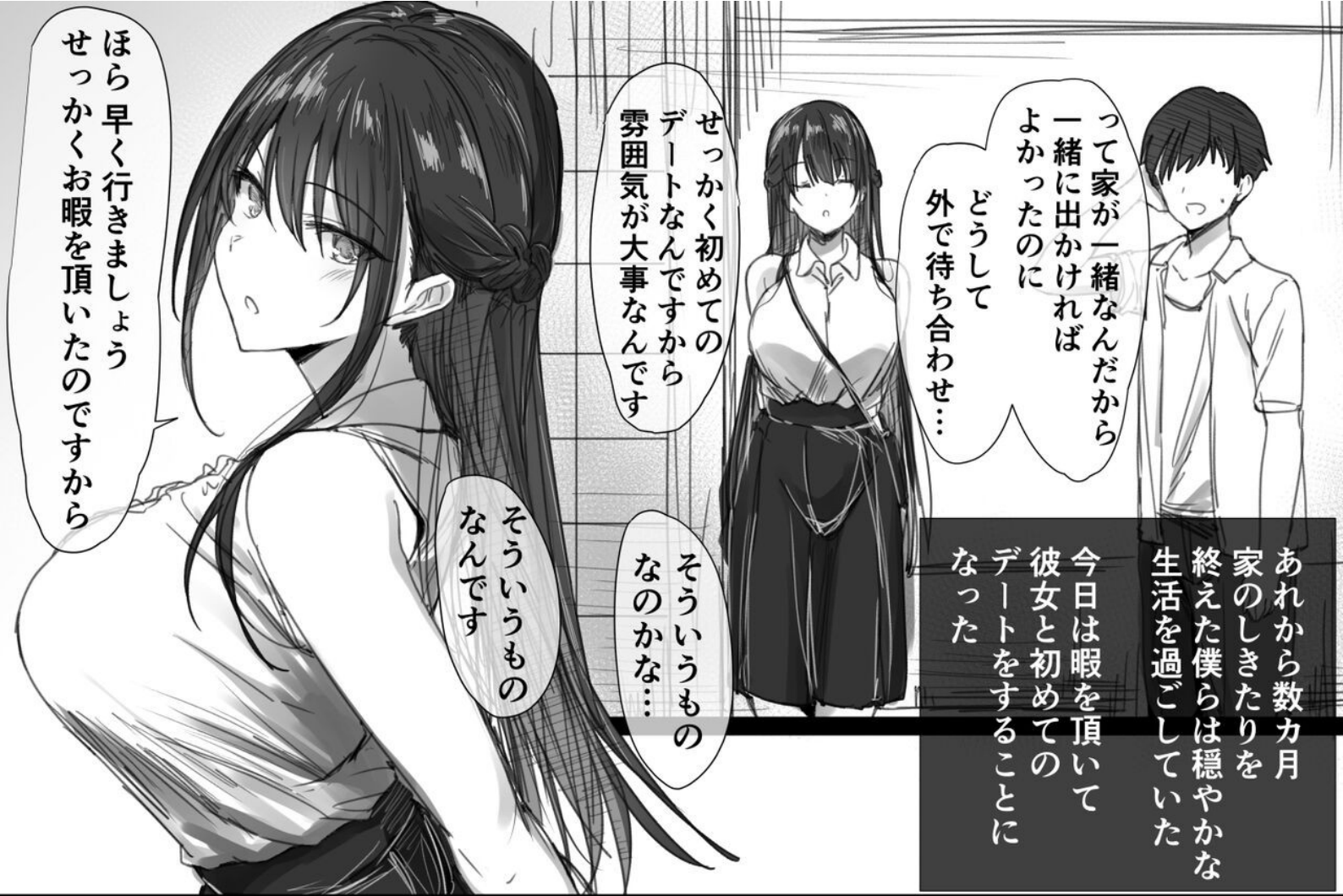
一部始終II



彼女は僕の許嫁の妻冬香
昔から気が強く芯を持った
清楚なところに引かれた
僕は長い間恋焦がれていた



長い間すれ違っていたこともあったが
今はお互い想い合うことができた
変わらず強気な姿勢も愛おしい
最愛の妻だ



ほら早く行きましょう
せっかくお暇を頂いたのでから

せっかく初めての
デートなんですから
雰囲気大事なんです

って家が一緒なんだから
一緒に出かければ
よかったのに

どうして
外で待ち合わせ…

そういうもの
なんです

そういうもの
なのかな…

あれから数カ月
家のしきたりを
終えた僕らは穏やかな
生活を過ごしていた
今日は暇を頂いて
彼女と初めての
デートをすることに
なった







私だって子供の頃は
普通の恋愛に憧れて
マンガを読みふけて
いたこともありましたよ

そうなんだ

でも

今日は普通の
女の子みたいな
素の自分でデートを
楽しめた気がします



あなたとだったから…
あなたが婚約者で
本当によかった



ああ…
好きだ
大好きだ…
いつだって
彼女は可憐で
父上との
過酷なしきたりを
乗り越えてなお…
美しいままに
僕のことを
想ってくれている

それならもう過去のことは
忘れてこれからの彼女との
時間を大切にしよう

僕たちの本当の
夫婦生活をこれから
始めていこう…

パ
ツ

今日は
とても素敵な
時間を
過ごせました



お礼に今晚は
たくさん
ご奉仕
いたしますね

お
し
ゃ
ん

ぷん
ぷん

僕の妻は
とても
性欲が強い

それが父上の開発の元
目覚めてしまった
ものなのは
複雑な気持ちだが

凄く気持ち
いいよ

ここ……
どうですか

でもそんなことも
忘れさせてくれるほど
包み込んでくれて

やばっ
もう
いきそう……

いつでも
好きな時に
イってください

はっ

凄く尽くしてくれるのだが
これじゃ初めの頃とは逆だな

ごめん今日もまた
一瞬でイっちゃって
気持ちよすぎた

うれし……
私は
いいんです

今日もまたイけなかった
もやもやが治まらない……
子供ができれば
こんな邪念もなくなるはず
それまでは悠真さんに
尽くさない……

はっ

また冬香を満足させて
あげることができなかった
父上のしきたりの時と比べて
不甲斐なさを感じる

こんなに気持ちいいのに
満たされていないのは
僕の方なのか……?

今日は海外留学から
帰ってきた
兄さんと会う約束がある



夕方まで
には帰って
来ると
思うから
兄さんのこと
今度改めて
紹介しないとね

はい



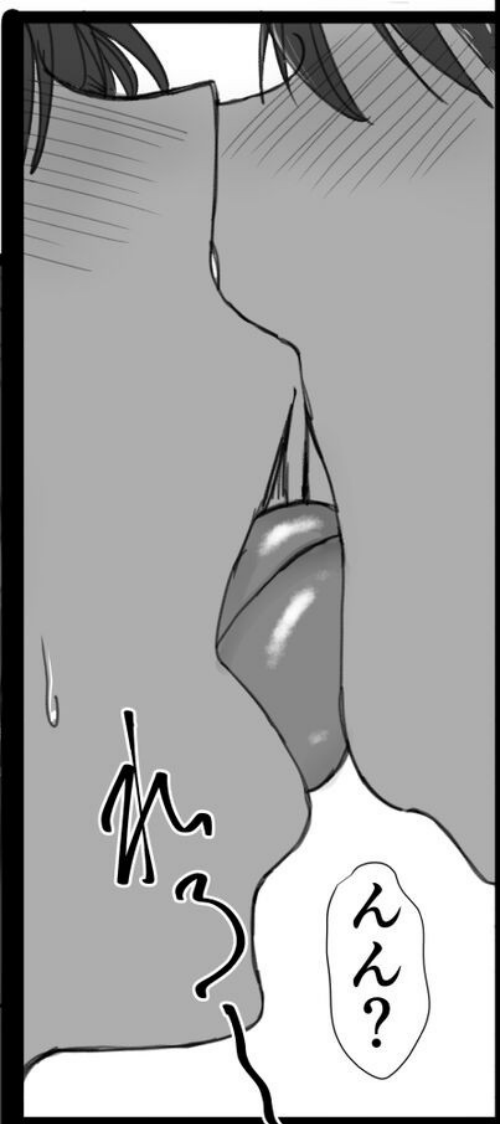
じゃあ
行ってくるよ

あっ
悠真さん



ちゅっ

お…



んん？

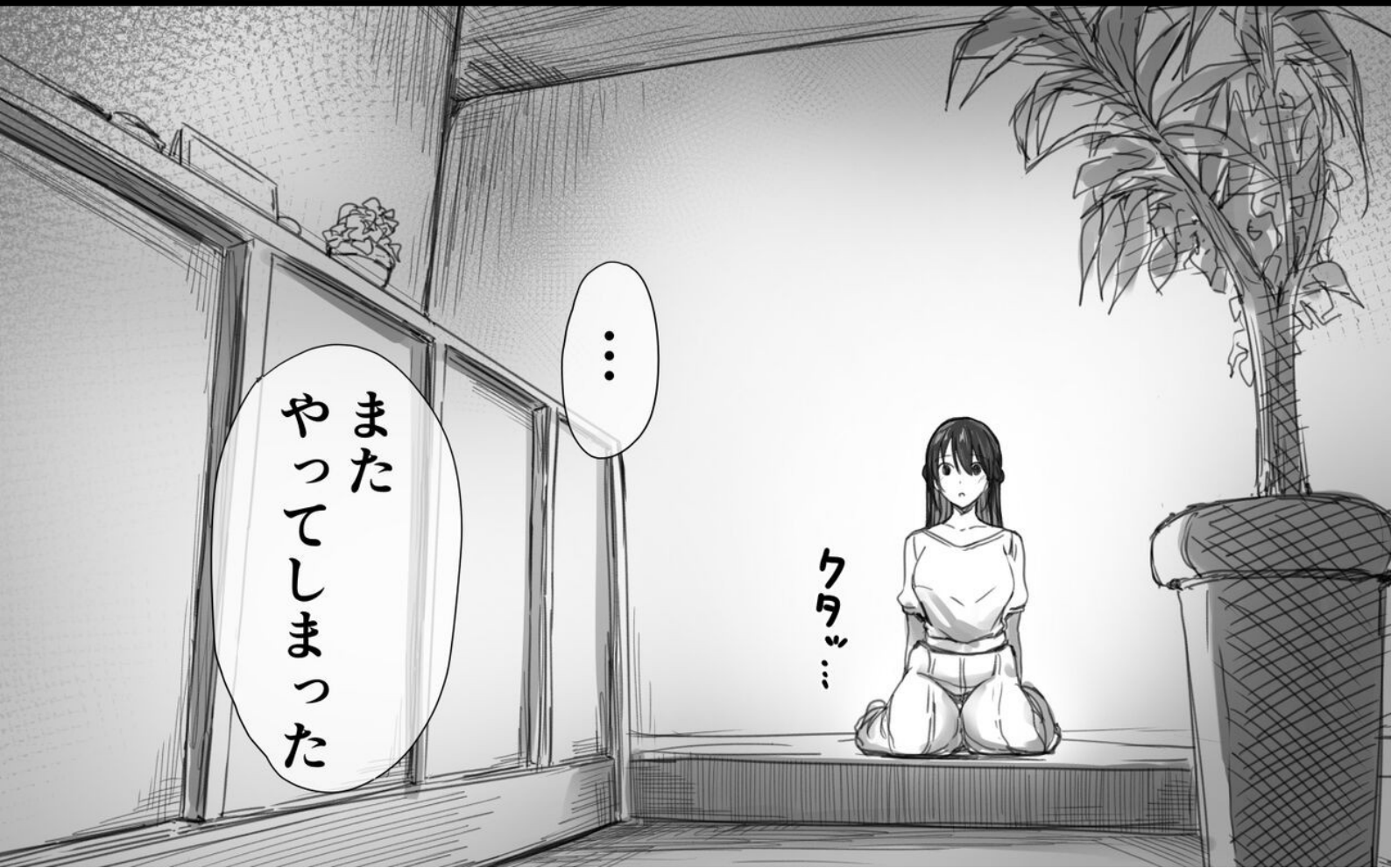


いゅっ

いゅっ

ちゅっ
おっ!!

ちゅっ





しっかりしないと



最近溜まってるのかな…
たまにスイッチが入ってしまおうと
止まらなくなってしまう



ワッ

ワッ



アッ



ガッ

ガッ



この格好をして
こうしていると
鍛錬に励んでいた
日々を思い出す

芯を曲げない

どんな誘惑にだって
惑わされない

邪念を
振り払わないと

!?



イギリス育ちの
ご令嬢だよ
見惚れるん
じゃないぞ

ははっ



しかし悠真に先を
越されるとはな

でもこっちも
自慢の嫁ができるからさ
また次の機会に紹介するよ

そうなんだ
おめでとう



いや…
なんでも…

なんだよ



どうした？



そうになると
父上とはもう…



なんだ？
父上から

ソニー



どうなるんだろう…

少し話し込んで
しまったな
兄さんが結婚する
ってことは
僕らもあの家から
出ることになるのかな





ド
ク
ン
ッ

ドッ

なんだこれは
なぜこんなものを今
なぜ昔の格好をして…
一体いつ撮られたものだ

脳裏で様々な妄想が駆け巡る
突然送られてきた画像の
情報量に脳が処理できない
待て 落ち着くんた
まずは妻に会って
確かめないと



ドッ

ドッ

ドッ



運転手さん
できるだけ
早くお願いします

数時間前

ガラ

ガラ

ここにいたのか

お義父様

ここはいい場所だろう
わしも若い頃はここで
鍛錬に励んだものだ

お義父様も
剣道を...

それであの時
あんなに...

どうした?

いえ...
なんでも
ないです

ふむそうだな
今日はそんな
話をしに
来たわけではない

?

お義父様!?

ふんっ

あれから悠真とは
うまくやって
いるのか？

あの…
お義父様

溜まっているん
じゃないかと
思ってたな

こういったことは
やめていただけませんか

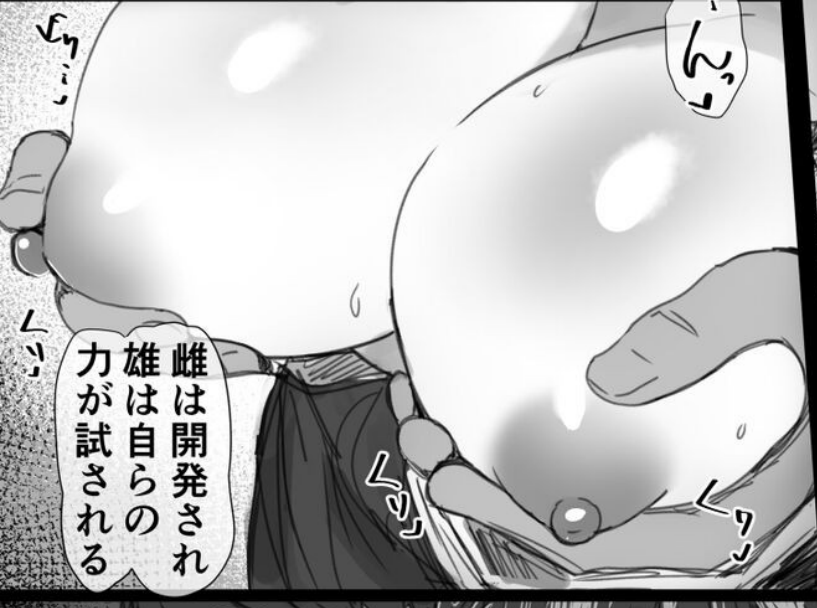
どうした
随分と
冷たいな

もう夜伽のしきたりは
終わったはずです
私も悠真さんに
満足できるよう
尽くさせていただいてます

しきたりか…
そもそも何故
このようなことが
代々行なわれているか
分かるか？



より快樂を高め合った
際に生まれる
遺伝子同士が合わされば
より優秀な子孫が生まれる
そういった考えがあるんだよ



雌は開発され
雄は自らの
力が試される



誰の子種を選ぶかは
雌に掛かっている

!?

もじ

もじ

もじ



と…
当然です

では見せて
もらおう

その愛というものが
あるならわしなんぞの
手でいくこともなからう



なるほど愛か…
それも大事なことだ
どちらもあるれば
よりよからう

そんな…
愛があれば
素敵な子に
恵まれますよ



ほれほれ
乳首が勃起
してきた

おん?
どうした
感じているん
じゃないか?

感じて…
ないです…

そうかのう?



少し覇気が無くなった
気がするが気のせいかなの

気の
せいです…

相変わらず
芯を持った気丈さ
今後の鷹原家を
支える者として
素晴らしいことだ

だがそう
溜まっていたは
仕方なからう

もじっ



相変わらず
モチモチで
柔らかい乳だ

そして敏感に
開発した乳首

ほれここが
いいだろう

んんん

ここを
重点的に

我慢っ…
我慢しないっ

しきたりは終わったはずなのに
結局は私を好き勝手に
犯したかっただけじゃない
今回こそは耐えてみせるっ…



だめ…
気持ちいいっ
声もれちゃう…

はぁ

はぁ

くるう
久々の感覚が

だ…め…

ほれっ
そのままいけっ



おおっ
イってる
イってる

盛大に潮を吹きおって
随分溜まってたみたいだ

パチン

パチン

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク



イクっ…

ああああッ!!

ぎゅうう〜

また私…

思い出してしまっ
意識が飛ぶほどの絶頂を…

ニャアママ

ニャアママ

ガク



あまりの
気持ちよさに
腰がガクガク
踊っている
ようだ

悔しいっ
お義父様の手
気持ちよくて
すぐに
イッってしまう

面白いぐらい
ビクビク
反応するのう

しばらく二人の
様子を見ていたが
成果が見えそうにない

これから鷹原家を
牽引するものとして
本来ならば自らの成長を
もってして
成果を出すべきだ
とも思っていたが

やはり変化が
必要なのかも
しれんな
ならば助力する
こととしよう

父上：
これはいったい：

遅かったな悠真
もうすっかり
日が暮れている

だめじゃないか
彼女の欲求不満を
これほど募らせては

なっ!!

しかし困った
わしの竿なら
満足させて
やることもできるが

欲求不満を解消する為に
決してわしとの
相手はしたくないと

当然です…

芯が強いことも
大事であろうが…
それでは身が
持たないだろう

ほれ見なさい
ちよっといじっただけで
3回もイってしまった

すっきり
とろとろ
まんこだ

わしも無理矢理は
好きではない

ただそもそも
知識がない
二人だけに成長を
求めるのも
酷だったのかもしれん

…

くちゅ

くちゅ

くちゅ

くちゅ

んんん

もじ

ジュー

まん

んんん

すっ

そこでわしと冬香さんの行為の動画を撮って悠真に送ることにしよう少しは足しになるだろう

そ…そんなこと…

悠真さんにこんな姿をまた…

悠真にはそれ相応の成果をだしてもらわなければ優秀な子を残すこともできない

彼女を満足させてあげるだけの資料が必要だ

早速今から撮影に入ろうか

その前に

4回目だ





本当に大丈夫かろう
既に4回イっている
10回なんぞ一瞬だ

悠真さんを裏切る
わけにはいきません

これがしきたりの
続きということなら
仕方ありません
受けて立ちますっ

これまで通り
優しく気持ちよく
してあげよう

一箇所ずつ開発した部分を
わしがメスの身体に
変えていった事をのう

そう強張らなくてよい
もう一度思い出させて
あげるだけだ

どこまで
耐えられるものか
見せてもらおうか

今回こそは
耐えてみせるっ…

敏感に
なってる中

クリを
かき回して…

これだと
またすぐ…





イク時は盛大に潮吹きをするからな
分かりやすい奴だ



あー
イク
ワ
ッ
ッ
ッ

ミ
ャ
マ
マ
マ
ガ
ッ
ガ
ッ
ガ
ッ



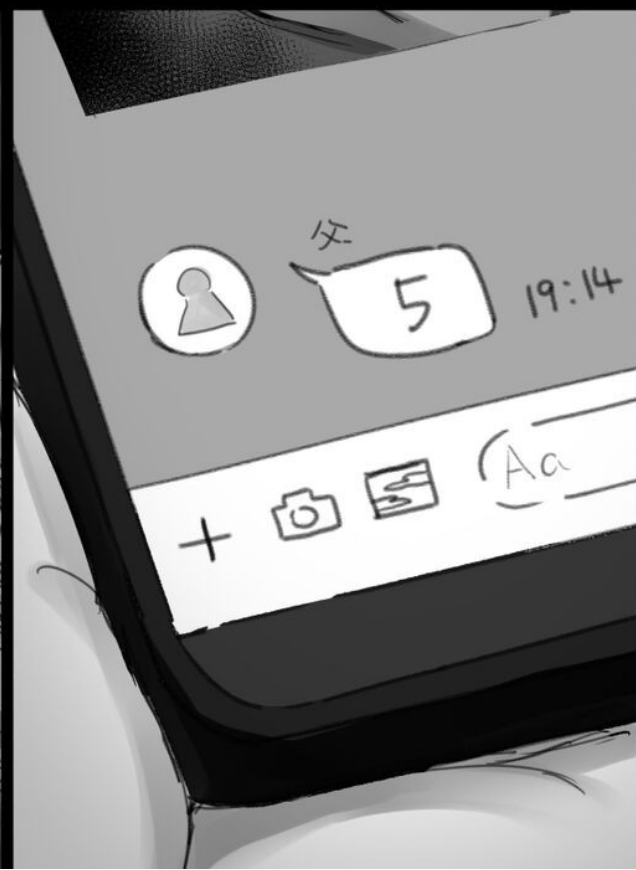
お義父様の舌技
巧みすぎる…

はーッ
はーッ

少しも気を
緩めることが
できない



カウント!?



父 5 19:14
+ [camera icon] [attachment icon] (Aa)



さ
ど
し
な
ら
な
い

今日はこれを
メインでいこうと
考えている

武器を使うなんて
卑怯なこと

こんな振動で
攻め続けられたら
絶対気持ちよく
なっちゃうやつ

悠真に技術が
なくても
道具があれば
多少は補えよう

振動が：
快感が直に

クリトリスに
響き続けて

こんな快楽をひたすら
耐えないといけないなんて



悠真ときたらこれほど感じやすい身体を
まともにも楽しめないとは
勿体ないやつだ

悠真さんは
私のことを
大事にして
くれてるんです

目の前にこんな
エロい身体があつて
満足にセックスが
できないのなら
それこそ無礼であらう

わしならいくらでも
満足がいくセックスを
してあげるといふのに

少し膣内を
いじるだけで
マン汁が
溢れてくる

これで抵抗している
つもりかね？

この辺を
重点的に

冬香さん凄くえっちに
何度も悶えてくれるから
張り切ってしまうわい

身を任せて
気持ち良くなる
ことだけに
集中してればよい

こんなの……

だめっ……
力が抜けるっ……

はあ……

こんなの……

ふっ……

ふっ……



ほらほらまた
膺のビクつきが
激しくなってきた
これは絶頂が近づいて
きているんじゃないか

勝手に快感を
求めちゃう

おおっ
息が荒く
なってきた

イ……いきたく……
な……い……

そんなに我慢して
強情なようだ



乳首も同時に
攻められて……
こんな感覚
刺激が強すぎるう

乳首もぷっくり
浮いてきている

あ……
だめ……



こっちの
感度も
すごいのう

乳輪くすぐられるの
そんなに気持ちいいのか

イェッ

イェッ

ほれ
イけっ

イけっ

ダメ!!

おっ

ビク

んちゅ

ビク

ダメダメい
またまた

またまた

乳首吸われて
イクっ

おっ

あつ

ん
ん

6回目!

ビク

アア

ヤ

ん
ん

ビク

ずっと絶頂してるとみたくに
気持ちいいのが続いている

我慢すればするほど
押し寄せる絶頂も
さらに増すだろう

またいつて

ダメっ
快感から
逃げられないっ

優しい愛撫が
続いていて
まるで全身が
性感帯みたいにな
ってきた

何回もイカされてるのに
中途半端に刺激されて
子宮の奥底の疼きが止まらない



イクの
止まらな



今お義父様の舌
入れられたら

ぶちゅっ

んんん...

んちゅっ



キスイキ
してしまふとは
もう拒む
必要もないだろう

おほっ

ちゅっ

ちゅっ

レレレレレレ

○

ガッ

イヤアアアア
ガッ

ガッ

こんな人の…
唇を犯されて
イクなんて

受け入れて
きちゃってる
身体が許し
始めてる

ガッ

すっかり淫乱
メスの
身体になつて

ガッ



そうじゃ
その調子で

お義父様とのキス
頭が溶ける
止められないっ

気持ちいいっ

もっとよく
舌を絡めて…

れろっ

はあ

れろっ

はあ

ハッ

れろっ

じゅるる

れろっ

こんな辱め
許されない！

我慢すれば…

この行為が終われば
お義父様との行為も最後に

悔しいことに
負けた時のことを考えると
絶頂がこみ上げてきそうに
なるのを必死に耐えてる

お…
お義父様
少し休憩を…

だめじゃ
真剣勝負
だろう？

っ…

気づけば
この勝負に負けた
時のことばかりで
頭がいつぱい
なっている

もう限界が近づいている

僕がこの数ヶ月
いくら頑張ろうと
イカせることが
できなかった妻が

何度もイカせられている
あの冬香が…

7…

ゴロム

ゴロム

ググッ

8…

ちんぽほしい
ちんぽほしい

ズン

これを挿れたら
すぐに楽になれるぞ
疼いているおまんこを
埋めてやることができる

悠真では
埋めれない
奥底まで

ズン

覚えている
忘れるはずもない
私を狂わせてしまう
おちんぽ...

ズン

少し味見でも
してみるか?

ズン

わしも危うく
暴発しそうなほど
ギンギンに
なってしまうているよ

ズン

深くを
突いてやろう

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

チンポしゃぶると
よりメスの匂いが
強くなったぞ

喉奥突くたびに
膣がキュンキュン
疼いている

このまんこはわしの
チンポを欲しがって
疼きが止まらないではないか

タイムリミットまで
あとどれくらい...
もう持たない...

散々辱めを受けて
ちんぽで脳が溶かされて
狂ってしまったっ

私の思考が
まだ回っている内に

今ならお義父様の
ちんぽを攻めれる

勃たなくなるほど
絞りとれば...



このまま
終わらしてみせる…

んぼ

乗ってきたようだ
もっと舌を
絡めなさい

お義父様の
ちんぽに負ける
わけには…っ

んぼ

苦しいのに
頭掻き回されて
こんな辱め…

なのに…
身体はどんどん
熱くなっていく…

んご

ちんぽ

あ…れ…？
なに考えてたっけ？
そうだと汁飲まないよ
…飲みたい…飲みたい…

おっほっ
気持ちいいのう

このちんぽで
突かれない…
私を満たして
愛してくれた性器

だ…大丈夫…
まだ大丈夫…

ちんぽ
ちんぽ

おおおっ
イクっ

ちんぽ…おいしい…

ちんぽ…だいじゅき

んご

んぼ

んご

あーっ
出るっっ

プッシャー

ビュウ
ビュウ
ビュウ

ふっ...!!
ふっ...!!

ビュウ
ビュウ
ビュウ

きもちっ

おほっ
口まんこに
搾り取られる

本気の
吸い込み

じゅわんじゅわん

若妻口まんこに
射精気持いいのう

ん
あ

あーっ
気持ちよかったわい

すっごい出た

9回目

ギョ

ギョ

ハッ

不覚にも
射精してしまっただが
冬香さんのちんぽ顔が
エロ過ぎてますます
ガチガチだ

なっ!?

ハッ

だが残念なことに
時間切れみたいだ
さすがの忍耐強さ
よくぞ耐え抜いた



!?

そうでした…

気付いてしまった

もうこうなってしまったら…

今やめられるなんてもう…

どうする?

しかし
大丈夫かね

何がですか

こんな状態になって
悠真とのセックスで
発散できるのか

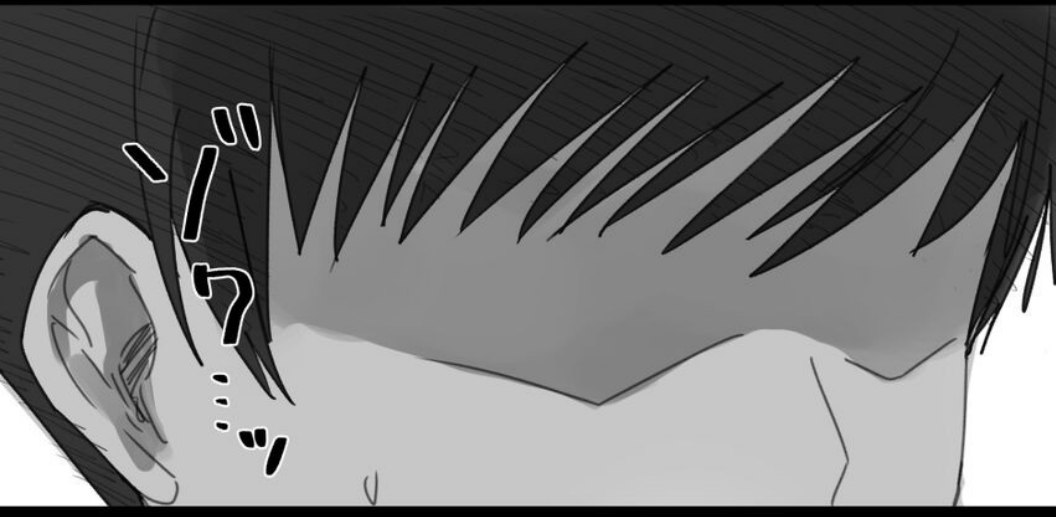


くそっ早く終わってくれ
中はどうなってるんだ
気になって仕方がない



父上の手によって絶頂する
妻のイキ顔がフラッシュバックする
僕の中で忘れかけていた邪心が
またふつふつと湧き上がる

あああ
あああ
あああ



もう分かりましたから…

ちゅっ

最後はお義父様の
ちんぽでイきたいです…

お義父様のちんぽ
挿れてください

心配するな
避妊はしよう

はじって
くっついて

あっ

よく言えた
やっとなま直に
なったか…

ちゅっ

ちゅっ



!?

っあゝ
すごいのうっ

何度味わってもたまらんっ
まん肉広がつて
吸い込んでいく感覚

ぬるぬる

あっあっあっあっあっ

あつ...あつ...
あつ...あつ...

こんな...
溜まった中に
快感を注入されて...

おかしくなる...
挿っただけで...
こんなあ...

くっくっくっ
くっくっくっ
くっくっくっ

ぎゅっ
ぎゅっ
ぎゅっ

あつ...あつ...

あつ...あつ...

あつ...あつ...

あつ...あつ...

おお...
根本まで
全部挿ったあ

みちい

あつ...あつ...
あつ...あつ...



欲求不満
発情まんこに

久しぶりに
極太ちんぽ



だ×つ
今いつて

だがまだまだ
これから



はあ

挿れただけで
絶頂してしまったか



わしのちんぽで
悶えている
姿はまた格別

やはり若妻の雌を
味わい尽くす
征服感はたまらんな

ましてやいつもは
澄ました顔を
している雌が

数ヶ月ぶりの
わしのちんぽは
どうだ



ゆ…
悠真さん…
これは…

ほらちゃんと
悠真に見せないと
このだらしない
メス顔を

!?

こんな恥辱を受けてなお
身体は快楽を求めている…

子宮がうずいてたまらない…

ゆうまさんっ…

満たされて
いなかった

違うっ

私は雄真さん
との為に…

締めりもさらに
よくなってきた

乱れた姿を晒して
興奮しているんだなん

違っ
そんな…

と…
冬香…

おおおっ
金玉熱く
なってきた

グググ

精子
上がってっ
くる

大きくて
遅しいっ
ちんぽっ

身体が勝手に…
悔しいっ
感じちゃうっ

まんこ全体が
甘え切っておる

パキ

パキ

パキ

フッ
フッ

フッ

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

これだけ
乱れて

悠真に何か
言うことは
ないのか

つ……
ごめんなさいっ

私はお義父様の
ちんぽで簡単に
イカされる

ダメな娘ですっ

その通りだっ
だらしないまんこには
仕置きをしないと

おもいつきり腰を
ぶつけるといい
音がるっ

あーっ
登ってきたっ

イクっ

まんこ
締めろっ

イクぞっ
濃厚精子
出すぞ

アアアッ

イクっ

イクっ

イクっ

イクっ

イクっ

イクっ

イクっ

イクっ

イクっ

イクっ

イクっ

イクっ

イクっ

イクっ

イクっ

イクっ

イクっ

イクっ

ぶるん

イクっ

イクっ

イクっ

イクっ

イクっ



ふー
でたでた

やはり若妻との
セックスは
最高に高揚するのう

どうだ悠真
これが
本物の交尾だ

精子たっぷり
出たわい

タプン

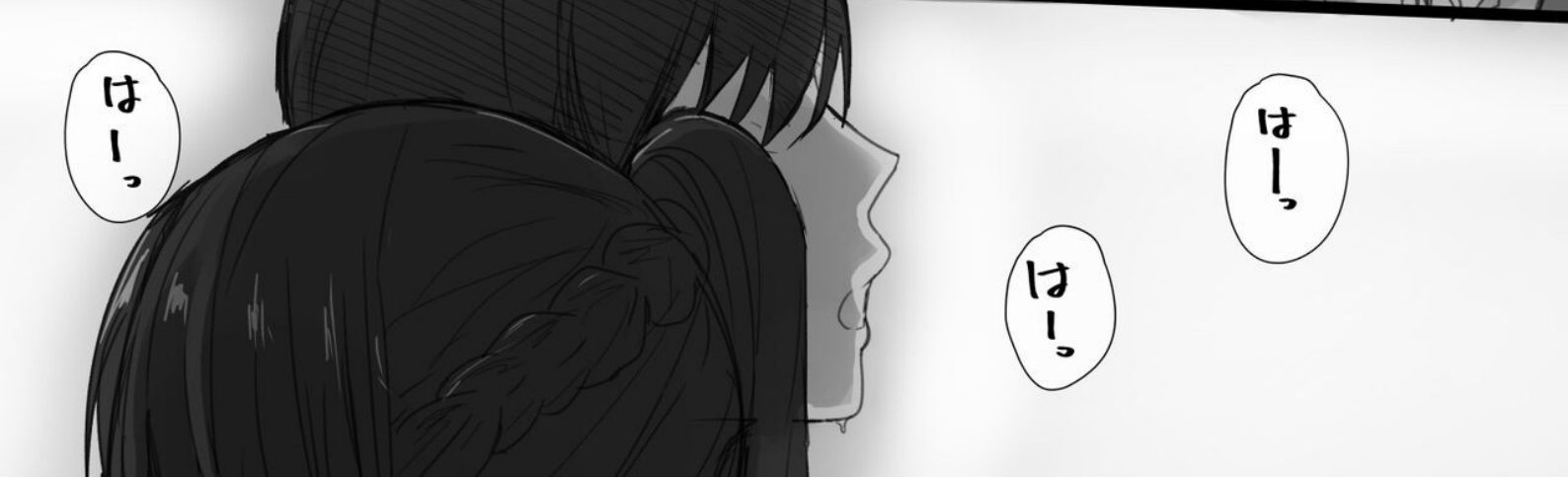


やはりわしの助力なしでは
優秀な子孫を残すことも
難しかろう
予定通り今後は
わしらの動画を
送ることとしよう

はし

はし

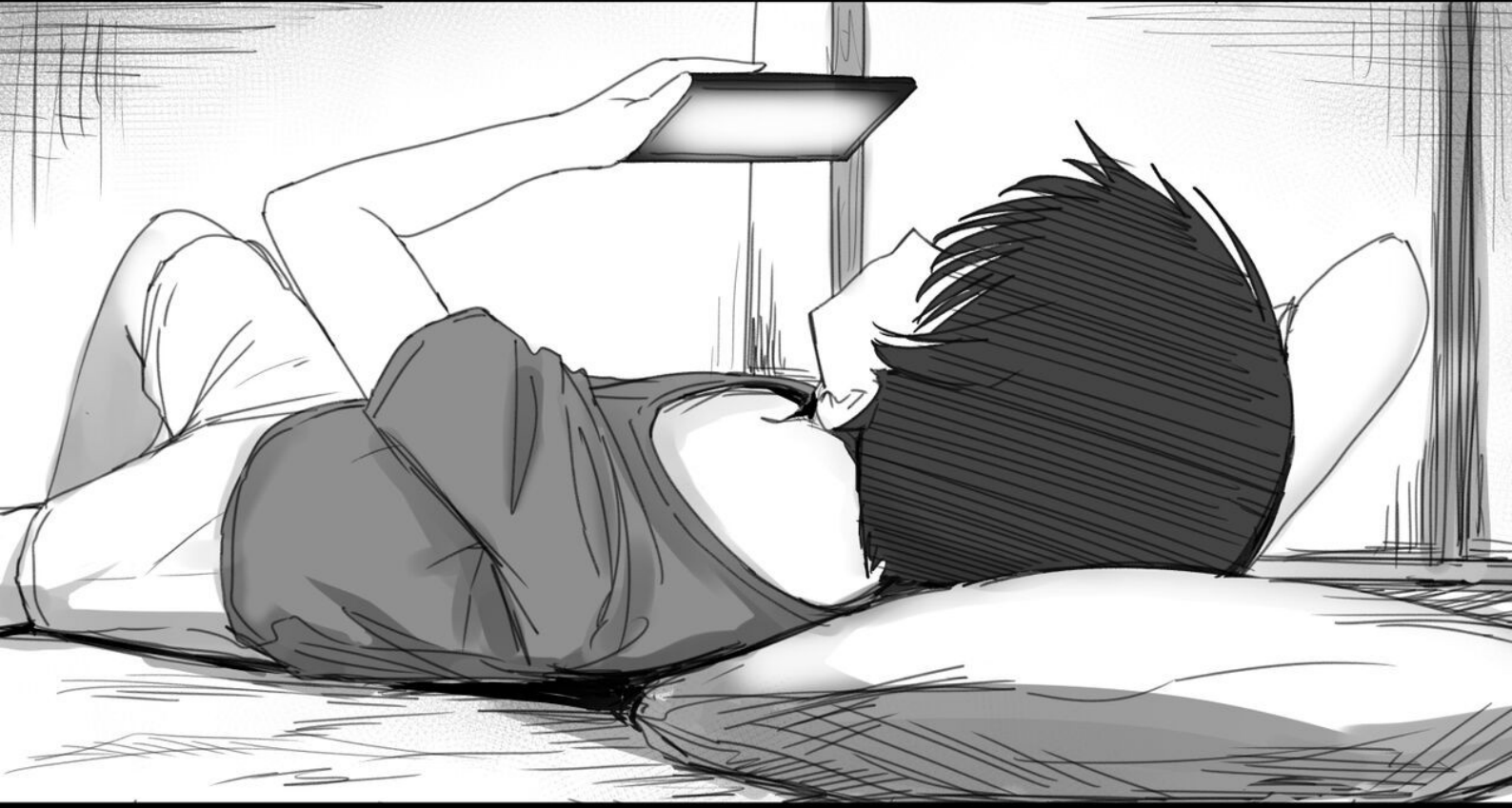
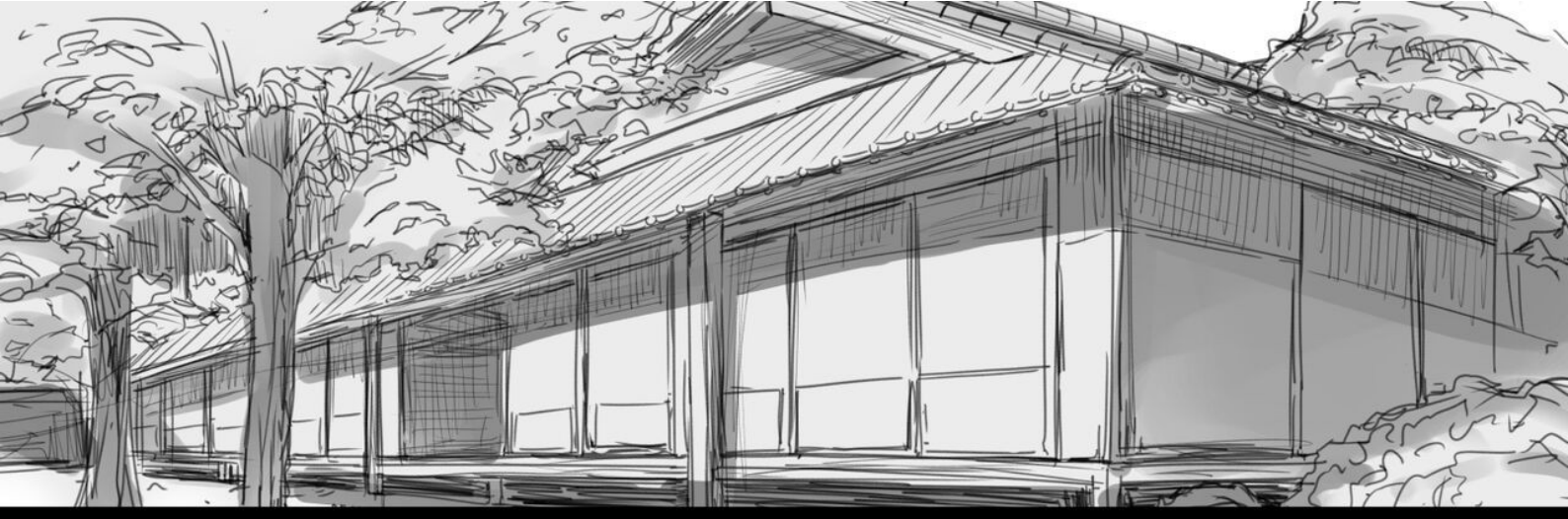
ごめんなさい
悠真さん
またお義父様
のおちんぽに
屈しちゃいました



はし

はし

はし



それから定期的に
父上と妻の淫らな映像が
送られてくるようになった



彼女との思い出が
塗り替えられていく

なのになぜ
こんなに…





僕が…
僕がしっかりすれば
彼女を満たして
あげることができれば
こんな日々も終わる



何故
勃起しない



!?

はっ

はっ

っ
たよっ



はは…

こっちまで興奮して…
って何言ってるんだ

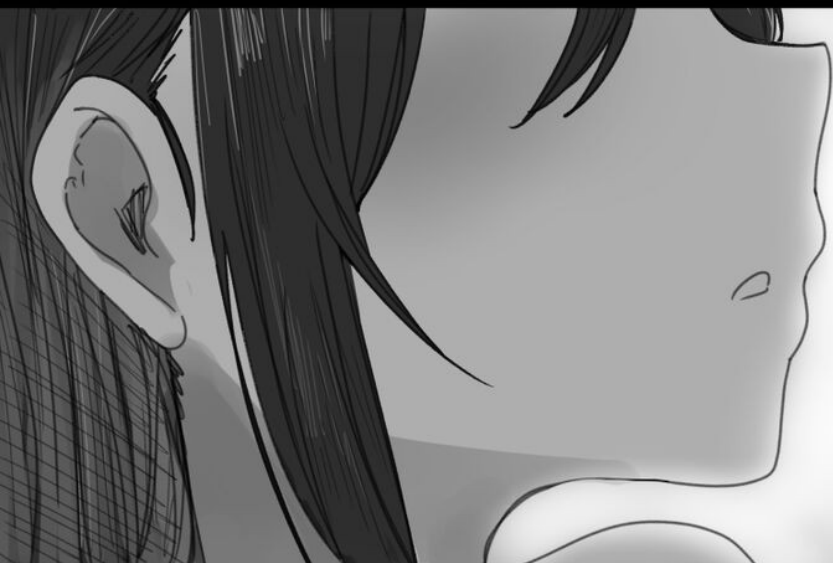
送られてくる映像も
冬香…凄く感じてて

いや…冬香は
とても尽くしてくれてる



あの…
悠真さん…

私に何か
至らないところでも…？



悠真さんは
あの映像で
興奮してくれて
いたんですか…



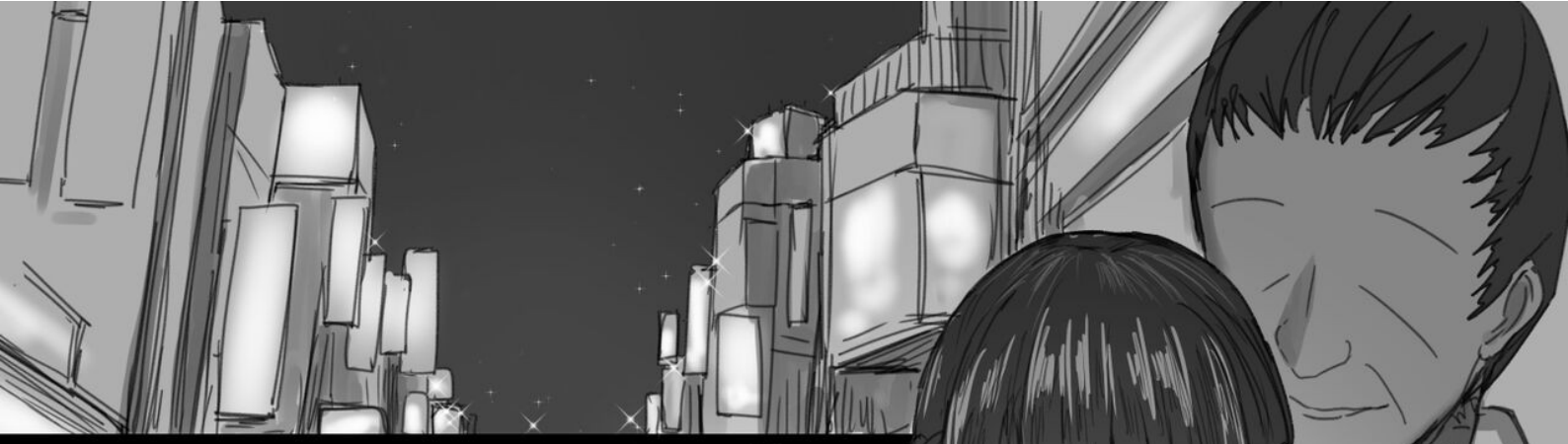
………

嫌な予感がした…



………
分かりました

今日は調子が
悪いみたいだ…
もう寝よう



今日もちんこにくる
清楚な服装じゃな

あのお義父様
何故今日は
このような場所に

たまには気分転換に
場所を変えて
みるのもよからう



ただひたすらに快楽を
満たし合うための
場所を選んだだけのことだ





しかしどうした
今日はいつもとより
夢中でむしゃぶりついて
わしのちんぽが
そんなに恋しかったのか

おほい
ちんぽ顔
ギンギンに
なるのう

ぐんぽ

ぐんぽ



あくまでも快楽に
身を墮とすのではなく
悠真の為に
体を張っているのだな

ほう...

私が感じてるところを
悠真さんが
喜んでくれるなら
頑張ろうって

気付いたんです

わしゃ

?

なるほど
これもまた一興

ぐんぽ

ぐんぽ

ちんぽ

ちんぽ

ぐんぽ

何事に対しても
勤勉に向き合う
姿勢は悪くない

いつまで冷静を
装ってられるかも
見ものだ

それならそう険しい顔を
しても仕方なからう
もう少し明るく
したらどうだ

ほれ画面越しの
悠真に向けて

こ…こうですか

では見せてやろうか
わしらの
ドスケベセックスを

!?

しばらくくしない間に
乳首もクリトリスも
随分大きくなったものだ

悠真では満足できず
わしが相手をしない間は
オナニー漬け
だったんだろう

どうなんだ？
言ってみなさい

多い時は？

…5回

まるで覚えてたの
中学生みたいだ

…っ
一日2回ぐらい…

おお、
すばらしい
乳圧、

ちんぽが
もってかれそうだ

お、
お、
お、

指導を初めた頃は
あれほど無知だったと
いうののう

しかしそれほどの
性欲を持って余していたら
悠真ではどうすることも
できなからう

やはりそっちの
才能がある

ニュホ

ニュホ

ぴん

ぴん

ジュー



くそっ…妻が僕以外の
ちんこを愛おしそうに
奉仕している
光景から目が離せない

ドスケベパイで
ちんぽ締めつけ
たまらんっ

いっしょい

あ

やばい

ん

たばい

むっちむちで
良い弾力だ

ほれもっと
しっかり
股を開いて

欲求不満若妻に
濃厚精子出すぞっ

たばい

ひゅー
ひゅー

ひゅー
ひゅー

あーっ
濃い射精るっ…

かわいい顔が
ザーメンまみれだ

増々興奮させおって

しっかり
こぼさず
飲むんじゃぞ

ぎゅー
ぎゅー

ぐゅー
ぐゅー

じゅー
じゅー

が
が

が

お義父様…
なぜさつきからこんな
恥ずかしいポーズを

実に扇情的じゃぞ
このほうが快感が
増すものだ

くっ…
こんな辱め…

た：確かにとても
恥ずかしいですけど
いけない気持ちが増
していきます

汗ばんだ脇から発情した
臭いがぶんぶんするのう

ほれ
脇舐めどうじゃ

き…
気持ちいいです

本気汁
溢れてきて
いるぞっ

はあ

はあ

脇臭いじゃ
だめっ

あぁあぁあぁ
あぁあぁあぁ!!

そのまま
イけっ



ほれっ
イク時は報告

イク

おあっ!
出るっ!

悠真がろくに
満足させることが
できなかった
欲求の塊が溢れ出ておる

イきます

まんこ
締め付けすぎだ

危うくゴムを突き破る
勢いで射精してしまった
ではないか

絞られるっ



まずいまずい
だめだろこれは

こんなこと...
彼女に求めてた
はずじゃないのに



ガッ

勃起が止まらない



しゅ...
すみません

悠真聞いてるか
彼女のまんこ
めちやくちや
気持ちいいぞ

あっ...
べろちゅーしながらの
射精気持ちいいわい

アマツツツ

ああ

ぎゃう

パン

トロトロに熟した
冬香さんの
メス穴最高だわい

ズポ

ズポ

これほどの
ドスケベボディを
持て余して

悠真はシコっている
だけでいいのか？
情けない奴だ

悠真さんのこと
悪く言わないで
くださいっ

私がえっちなのが
悪いんですっ

悠真に見せられない
下品なイキ顔見せろっ

ひゅく

ちんぽが出たり
入ってるところが
よく見えるっ

10%

はー

あ...
あ...
あ...

はー

おおおッ

イク

おまんこ
イクっ

ひゅく

おおっ
射精とまらんっ

画面越しで僕に
見せつけるように
濃厚なセックスが続く

これが僕が妻に求めていたものなのか？
認めたくない...認めたくないけど
自分のちんこを
しごく手を止められないっ！



あゝ〜
気持ちいいわい

わしのちんぽに
むしゃぶりついて
増々発情している

んちゅっ

ちんぽっ
ちんぽっ

ちんぽ
溶けそうじゃ

じゅぽっ
じゅぽっ

じゅぽっ
じゅぽっ

その姿は僕に見せる
ための演技なのか？
いや本気で悦んでる
ようにしか見えない



よく見てもらえ
悠真の数倍ある巨根を啜えて
スケベによがる姿を

ここは
どうだっ!?

ダ×っすごい
ああっ

おちんぽ

奥ぐりぐりっ

おっ

おっ

何故僕は妻とのセックスの時は
勃起しなかったのに
妻と父上のセックスをしている
姿に興奮してしまうんだ



ほれほれ〜
この角度が
弱いんだろう

はっ

ああ...
やばあ...

わしの巨根じゃないと
届かないからなっ

ほら
カメラ見て

はっ

おおっ
締まりすぎっ

いつ
いつてましゅ



ぜっ…
絶対ですよ！
射精の時は
外に出してください

な!?
だめだろ
もしものことが
あったら!?

生ハメセックス
しましゅ

雄真に見せて
あげなさい
スケベな姿を

悠真のためと言いながらもはや
自分の欲求を満たすためだけに
やってるようになしか見えんぞ

そんなこと
ない…

おおっ
久々の生の
感触じゃー
飲み込んでいくー

あ
あー

そんなに
生ハメ
気持ちいいか!?

ぶちやいくな
顔晒して
説得力ないぞ



冬香があんな
 だらしなく腰を振って
 ショ
 ショ
 こっ…っ
 腰が砕けそうだ



気持ちよくて
 腰とめられませえん

ヒーマン

快楽に没頭する雌の姿に…



その姿はもう普段の凛とした
 妻の面影はなく



スイッチが入ってしまった
 妻はもう絶対に止まらない

その圧倒的な力量の差を
 見せられてしまう

ピニ



ヤバ…
 インワツ

本当は冬香は
 そうされたかったのか…

父上に変えられた身体は
 際限なく快楽を貪るように
 父上とのセックスに
 没頭してしまう

ピニ
 ピニ
 ピニ

子宮の奥
 好きじゃろう

熱烈ピストン
 とまりません

ピニ
 ピニ

キスしながら
生ちんぽで
ラブラブセックス
たまらんろう

これしゅごう
やめられなご

わろ

わろ

子宮がわしの精子を求めて
本気締め付けしているぞっ

おほっ
下品な
腰使い

このまま
わしの子を
孕むか？

ダ…ダメ

きもちいごっ

妊娠する気で
受け入れてみよ
絶対気持ちいいぞ

ちゅっ

ズボ

へっ

駄目だと言いながら
浮気チンポの方が
たまらなく
気持ちいいんだらう

ハアッ

ハッ

へっ



こりやもう
中出ししかないな

だめっ
妊娠しちゃうっ

本当は気づいて
いるんだろう

わしとセックスを
するための
言い訳を探して
欲望のままに
乱れただけだ

!?

ちゅっ
あっ

わたしは
悠真さんのために...



だめっ
中...だめっ

なら悠真に
見せつけるように
派手にイキ狂いなさい

悠真の目に
焼き付くような
アクメきめろっ

ほんと
ダメですっ...



堕ちろ

堕ちろ

堕ちろ

パニッ

パニッ

うっ…

お義父様の精子
いっぱい
溢れてきちゃう

中に出さないって
言ったのに…

すまんすまん
つい盛り上がって
しまった

後で
アフターピルを
与えよう

ジワ〜

中々愉快であった
たまにはこういった
ものもよいな

悠真さんとのためと
思いながら
今日はいつもより
乱れてしまった

自分自身を
見失わないように
悔い改めない

…

！

クワッ！！



危うく轢かれるところだったぞ

ベクッ

これ!!

なにぼーっとしておる

キッ



!?

はいすみません…

少しやりすぎたか脚がフラフラだな

注意して歩きなさい

この感じ…前にもあったような…



ふふ昔のことを思い出すな

昔?

覚えてはいないだろうがまだ冬香さんが小さい頃あの時も同じようなことがあってな

わしと冬香さんの親父とはなんというか…そう昔から腐れ縁みたいな関係だったんだが

やつは冬香さんを溺愛していたな

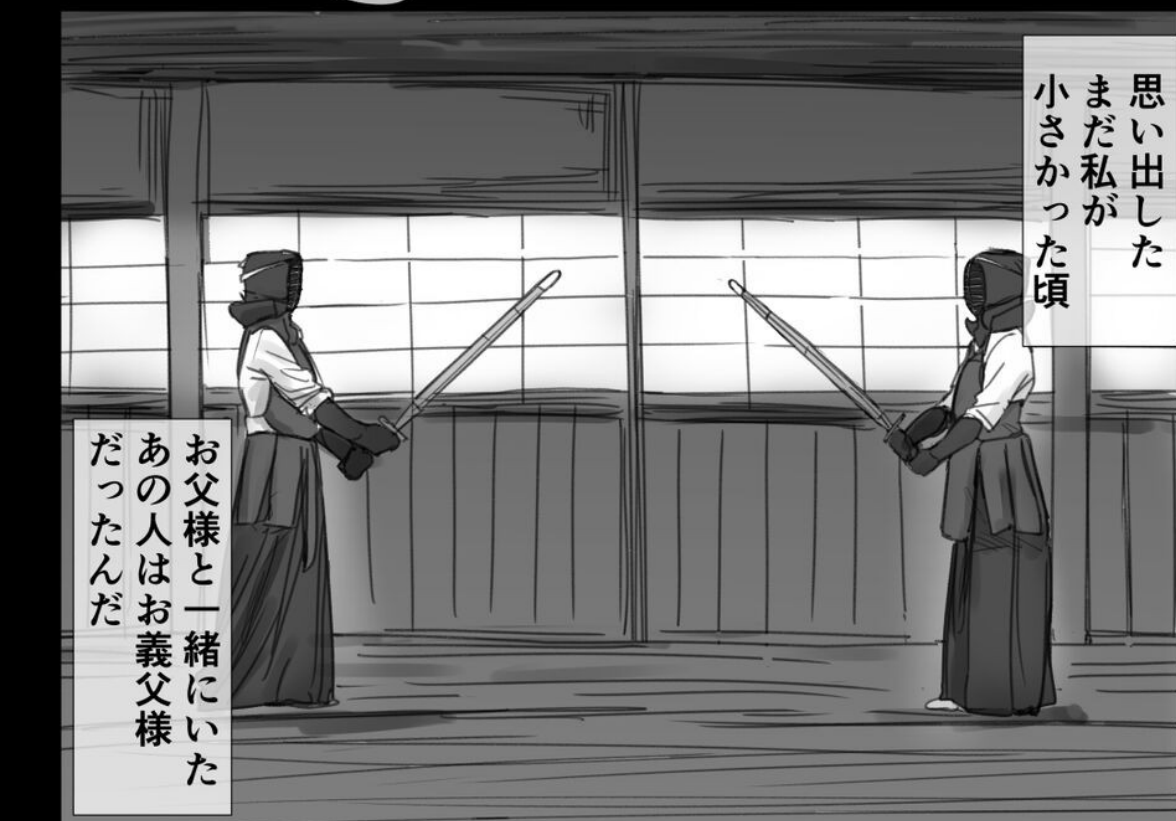


自分に何かあった時は
娘を頼むと：
まあ冗談めかして
言われたものだが

本当に早く絶って
しまおうとはな…

わしらしくもない
昔のことを語って
しまったわい

…



思い出した
まだ私が
小さかった頃

お父様と一緒にいた
あの人はお義父様
だったんだ




それと近々次男が
結婚することになる

それに伴い
二人にはあの家から
出て行ってもらうこと
なるだろう

詳しくは後日
追って話すことにしよう

えっ

ということは
終わるんだ
お義父様との
行為も…



知らなかった…
昔お父様と
そんなことがあったなんて



勘違いだった？

でも…
お義父様からはたくさんの
辱めを受けてきた



子供の頃
私はお父様のことが
大好きだった

だから亡くなって
しまった時は
とても悲しくて



そしてその代わりに
私の前にやってきた
お義父様が嫌いだった



相変わらず
精が出るな

だが一人で
そうしていても
つまらないだろう

たまにはわしが
相手をしよう

その運命から
抗いたかった

その瞬間に私のその後の
人生が全て決められた
みたいで

私は挫けない

自分自身の力で
未来を切り開く

っ…



手加減は無用
いつでも来なさい



やめてっ
真似をしないで

なんでこの人
お父様みたいな
動きをして

!?



大嫌いな人が
大好きなお父様の

どうした
気が乱れて
いるぞ

うるさいっ
うるさいっ



うるさいっ...

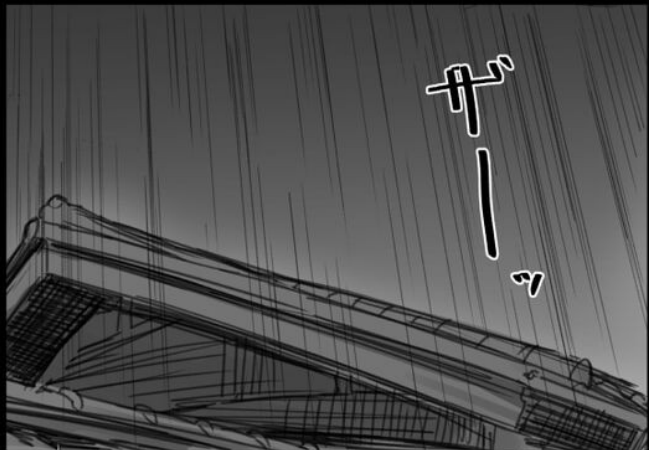
トッ
ウッ



大っ嫌いっ

嫌いっ

嫌いっ



ガーンッ



まだまだ精進が足りないみたいだな

...



お父様...



...



排卵日が
近づいている
身体の火照りが
治まらない



やはり僕では…



どうすれば…





は...

は...

どうした?
冬香さん

アッ



えっ

アッ



はあ...

はあ...



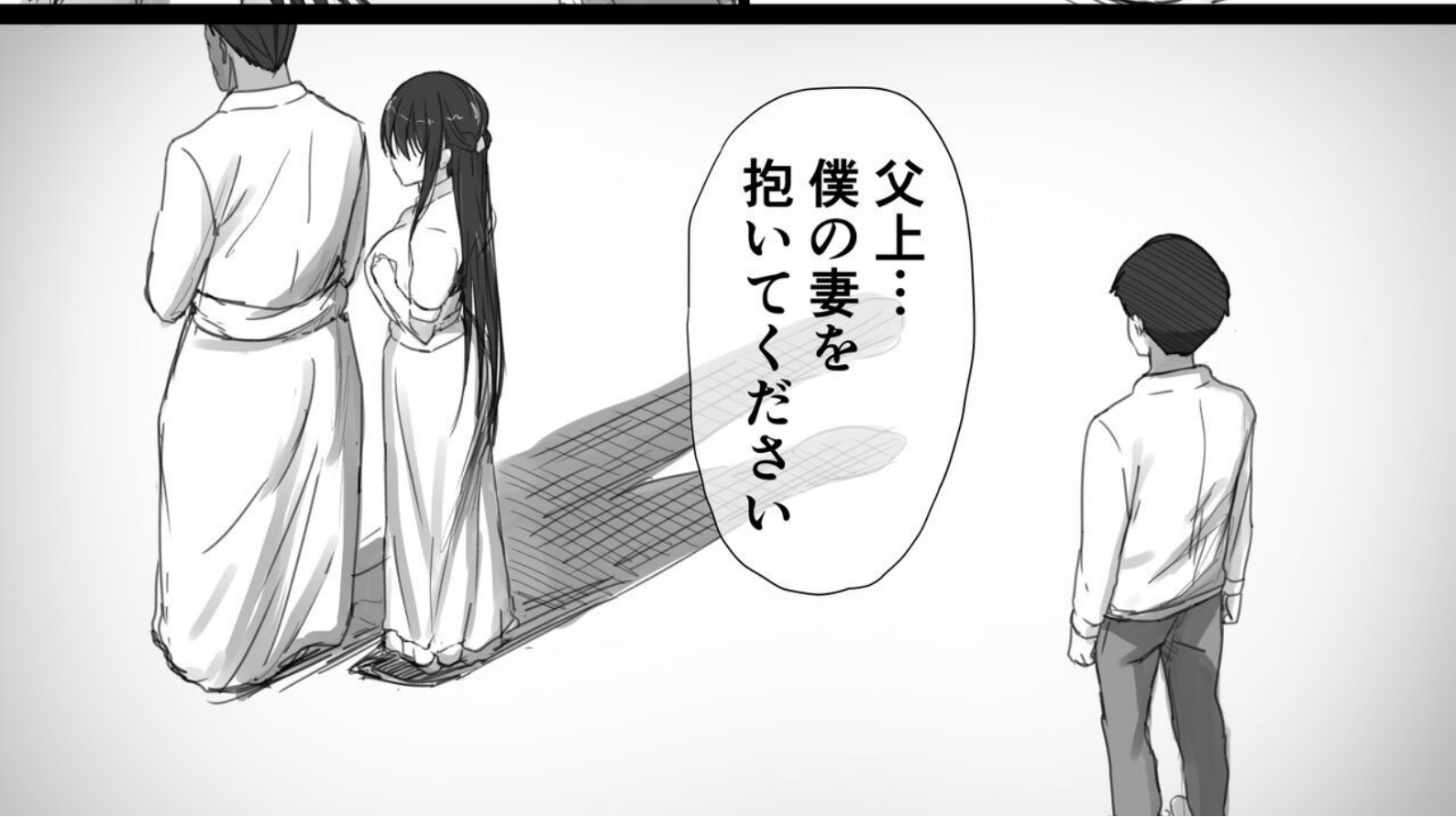
はあ...

私は...

私は...

お義父様...

.....





そして僕は
またここにいる

これで良かったんだ…
これが僕らにとっての
最良の選択



とても真面目で優しい人
初めて好きになった
方なんです

だから悠真さんを
裏切ることなんて
できません

…でも分からなく
なってしまいました
身体はお義父様を求めてしまう



お義父様…
私は雄真さんを
愛しているんです

分かっている



なら一度本能のままに
受け入れてみればよからう
何を求めているか

悠真の許可も得ている

…分かりました

ずっとムラムラ
していたせい
か
膣内はぐちゅぐちゅ

まだ何もしてないのに
恥ずかしいくらい
濡れているのう

じゅあ

ぐにぐに
ギョ

ぐに
ギョ

いつだって
私の心を惑わして

もうしきたり
なんか関係ない

今から私は自分の意思で
お義父様に抱かれる

そう考えると今までに
ないほどの熱が
下腹部に集まるのを感じる

お義父様
もう…

おち…おちんぽ
挿れて下さい

身体は
素直じゃな

こいつと
いっぱい絡めて
愛し合おうな

私を満たしてくれる
魔法のちんぽ

ハアッ

ハアッ

ハアッ

ただ運命から
抗い続けていた私が
なぜ拒絶していたのか

このもやもやが
全部なくなるまで
私のことを
満たしてほしい

めちやくちやに
犯してほしい…

デカ尻
絶景じゃ

パン
チュウ
ー

パン
チュウ
ー

パン
ー

おまんこが義父様の
おちんぼの形覚えてるっ
もつと奥まで
掻き回して欲しい

これっ
これが
欲しかった

子宮の奥に届いて
頭ジンジンするの

今の姿
最高にエロぞ

おまんこ
奥…

体が求めるままに
素直になりなさい

パン
チュウ
ー

パン
チュウ
ー

ああっ

はっ…
ああっ

もつと
突いてっ…

お義父様の前だと
全てを忘れて一人の
雌と化してしまう

罪悪感に苛まれながら
お尻を突き出して
犯されるのを待つ

フポッ
フポッ
フポッ

あぁっ
深いっ

はっ
はっ

そこに来る
強烈な背徳感が
堪らなく
気持ちいいっ

フポッ

あゝまんこ
締まるっ

パニッ
ほらいけっ

あゝあゝ

イク

ビクッ

ビクッ

イッ
ククウ

ドッ
ドッ

イってるところも
スケベで美しい
もっとイってる
所を見せなさいっ

快感でほだされて
素直になっていく...

お義父様に
甘やかされて

ドッ

イってます
今イって...

きもちいい

ぐりぐりっ
ぐめえっ

はっ

はっ



ッああっ
ジュルルッ

くちマンコに
出すぞっ
しっかり
味わうんじゃぞ



はぁ

あー出そう

ほれ
口開けて



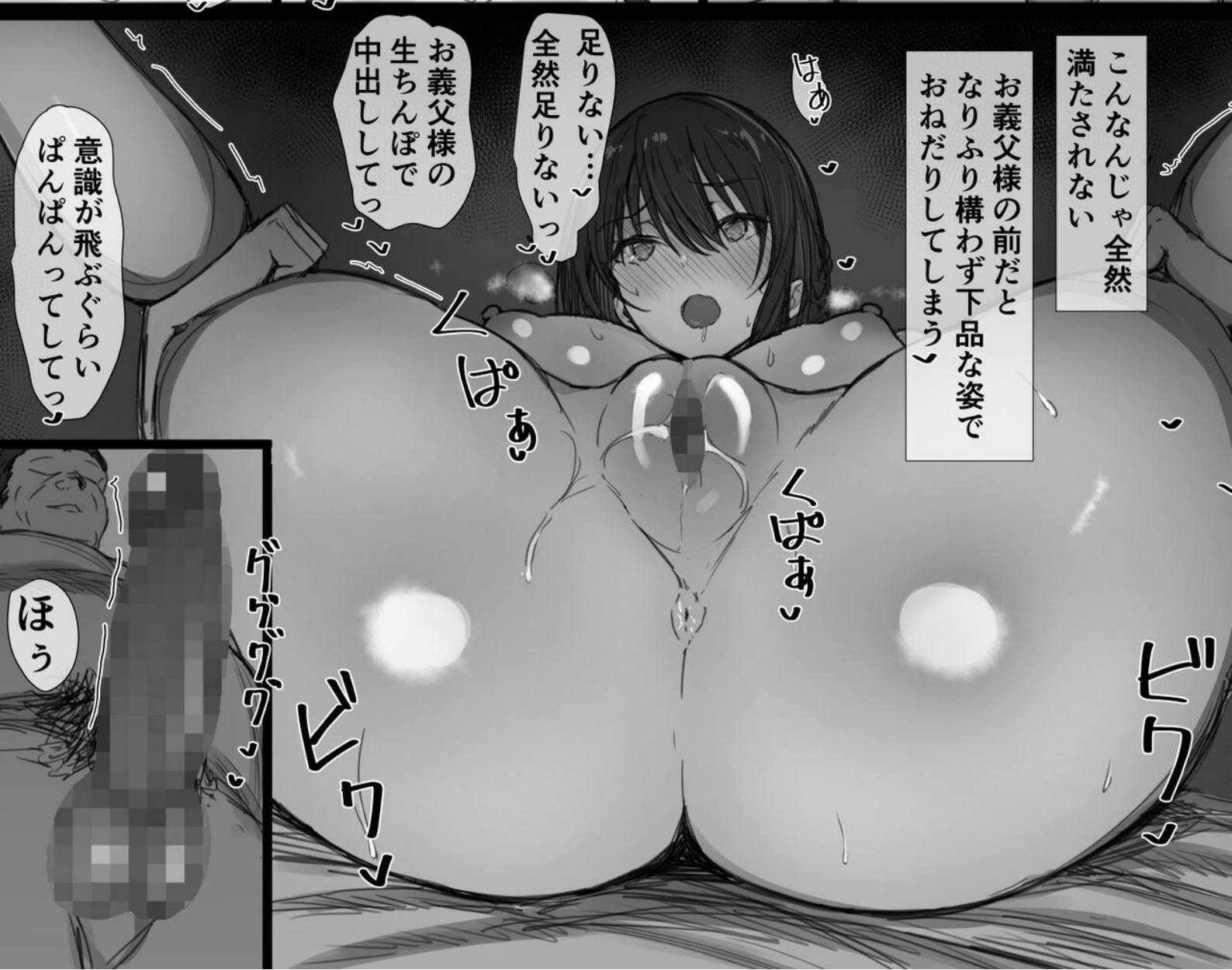
んはぁ

よしよし
全部飲んだな



この味
この匂い
グキョ

口の中に
充滿して……



こんなんじゃ全然
満たされない

お義父様の前だと
なりふり構わず下品な姿で
おねだりしてしまう

足りない……
全然足りないっ

お義父様の
生ちんぽで
中出ししてっ

意識が飛ぶぐらい
ぱんぱんってしてっ

はぁ

くはぁ

ビク



ほう

ググググ
ビク

っあーっ
生膣ヤバっ

ずぬぬっ

あっ

あすっ

ずっと嫌いで
とつても意地悪で

全てのものを
自分のものに
しようとする
強欲な人

おおっ
やっぱ
これじゃ

ジュポ

生まんこ
絡みつき
気持ちいいのう

ハマッ

ジュポ

ヌキユ

そんな：
嫌いな人との
セックスなのにっ

気持ちよすぎて
やめられないっ

どうじゃ？

やはり
わしとの
子を作るか？

今そんなこと...
ずるいっ

ちんぽで
キスされるたび
好きにされてしまうっ

ヌキユ

ヌキユ



悠真との子作り
どっちを選ぶ

わしとどっちが
気持ちいいんだ

ほれっ
言わないと
イかせんぞっ

…きもちいい

誰のがじゃ

お義父さまのっ

パン

悠真さんより
お義父様のほうが
ちんぽおつきくて
きもちいいっ

ッ…

パン



はあっっエロっ
精子上がって
くるっっ

あっ

あっ

びゅんびゅん

びゅん

びゅん

ああああ

イワウウ!!



お義父様の中出し
気持ちいいっ

びゅくびゅく感じる
お義父様の精子…

たくさん…
はいっくく…

おおっ
活きのいい精子が
止まらない

ドクドク

ドク

悠真さんより長いちんぽで
好きっ好きって♡
子宮を突かれてるみたいで

冬香さんの
発情まんこ
気持ちいいぞ♡

気持ちも制御できず
意に反して生殖本能が
促進されて快感をもっと
求めてしまう♡

今日まで積み重ねてきた
知識やプライドや
好きだった彼のことも全部
快楽に溶かされて全部飛んでいく…

ああっやばっ♡
また精子出るっ♡

気づいてしまった
自分の内に眠る本性に
墮落した行為に浸る気持ちよさに

乳首吸われながら
中出しイクッ♡

イクワッ♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡
はっ♡

ちゅっ♡

あぁ♡

パン♡

ちゅっ♡

ヒッ♡

クッ♡

ヒッ♡

ヒッ♡

ドッ♡

んちゅっ
んちゅうっ

ちゅっ

キスしゅき
すきっすきっ

んちゅうっ
しゅきっ

わしも
好きじゃよ

こんなに乱れたら
だめなのにつ
お義父様のキス
もつと欲しくなる

自分で腰を振って
情けなく喘いで

んあ...イク...
またイク...

ああっ
お義父様あつ

アキ

アキ

んちゅっ

ちゅっ

子宮突きからの
増長していく絶頂

これを繰り返すと
いずれ身体は本能に
基づいて反応するだろう

受け入れろっ
本気精子出すぞっ

パニッ

パニッ

19

19

あああ
あああ
あああ



イクっ

イクっ

んちやう

イクッ

イクッ

おあっ

冬香さんの膈内
子供孕みたくて
仕方ないくらい
締め付けてくる

まっかん

ぽん

イクッ

イクッ

イクッ

イクッ

!?

おおっ!?
さらに身体が
ほかほかじゃ

えろい匂いが
身体から
溢れておるぞ

快楽に刺激され
優秀な遺伝子が
排出されたのだ

より優秀な雄の
遺伝子を求めて
反応したのだろう
当たり前のことだ

いま…たまご…
排卵しちゃった

排卵しちゃいました

ゴハッ

ゴハッ

ちゃっ

ちゃっ

ちゃっ

ちゃっ

ちゃっ

このまま中出しを続けたら
確実にわしとの子を孕ませることが
できるだろう……どうする？

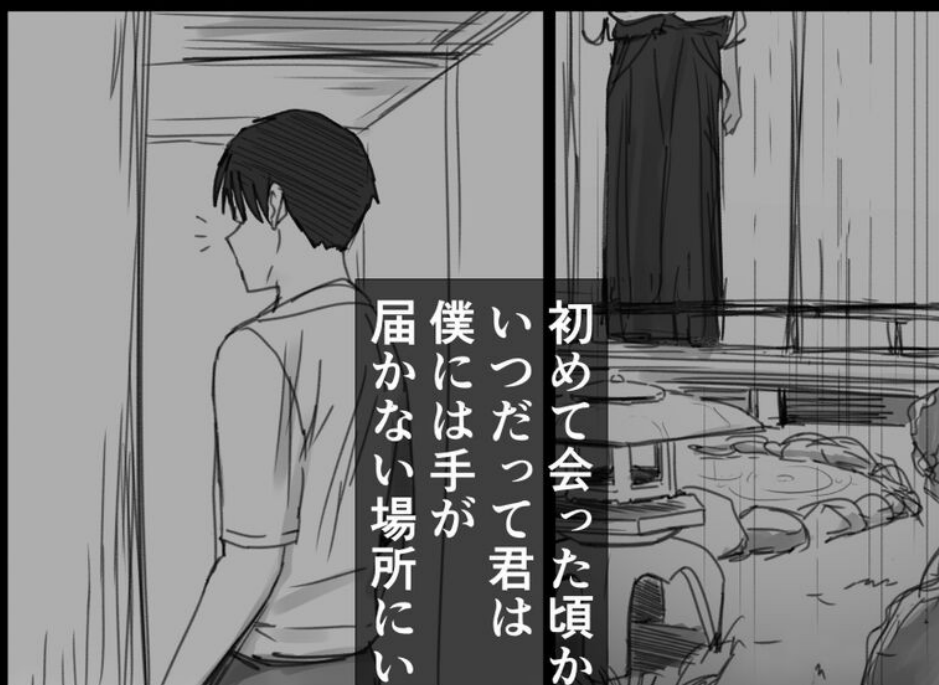
はっ

ひく

はっ

ひく

ト



初めて会った頃から
いつだって君は
僕には手が
届かない場所にいた



冬香…
君に出逢えて
本当に良かった



不意に見せる
魅きつけられるほど
儂げな姿に

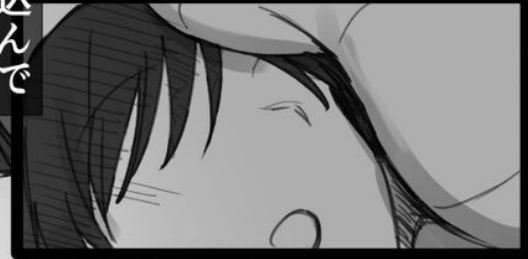




すべてを包み込んで
くれるような
慈愛に満ちた姿に

君の一つ一つの変化に
心が揺さぶられる

知れば知るほどに
好きになっていく…



でもどんなに近づこうとも
僕が彼女の心を
開くことはできない



もう止まれない：
お義父様は私の
穢れた欲求を満たしてくれる
この人と：離れるなんてこと：

ごめんね：悠真さん
私自分の本性に
気づいてしまった

どんなにお義父様に
心を開かれても
悠真さんが一番だから：

この想いだけは絶対に
失くならないから：

おねがい：
中に出して：

いいのか？
排卵したんだろう？

お義父様と
繋がったまま
イきたいから：

そのまま
中に出して：

もう忘れられない
お義父様のちんぽから：



ちゅっ

おじさま…っ

おじさま…っ

んちゅうぶちゅうんやばあ

愛し合うのたまらなく
気持ちいいっ
やめられない…っ

浮気ちんぽで
本気締め付けとは
悪いマンコだ

んちゅう

んちゅう

うああっつ
スミマセンっ…

ぎゃうっ

ダメな
私のおマンコ
おしおきピストン
くださいっ

へっ



こんな気持ちいい
ものがあるなんて
知らなかった…っ

受精したいって
気持ちで溢れるっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

排卵したての卵子に
確実に精子
ブチ込んでやろうっ



あああっつ
濃厚精子上がってきたっ
受精準備しろっ

んちゅうちゅっ

おあっす

お義父様の精子で
孕みますっ

パン

パン

パン

おじさまっ

好きっ

好きっ
おじさまっ

パチュン

悠真さんが
一番好きっ

この想いだけは
変わらず本物だから…

腰振り止まらんっ
最後に中に出すぞっ
奥で受け入れろっ

れろっ

んちゅっ
はいっ

れろっ

くだっ
くだっ

パチュン

出るっ出るっ!!

グ

く

グ

一番深いのキチャやっ

グ

あ…
あ…

あ…





悠真さん...



悠真さん...



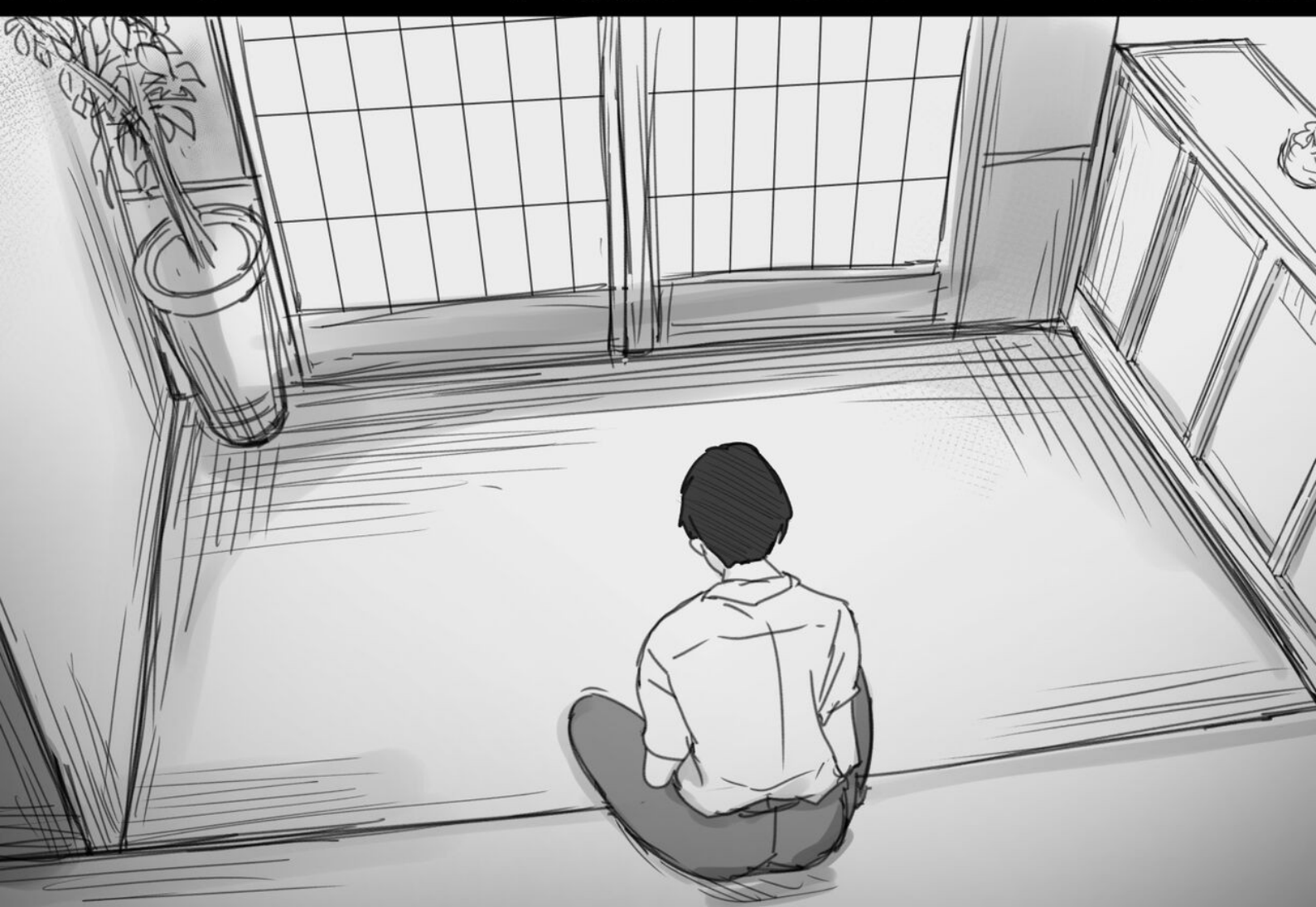
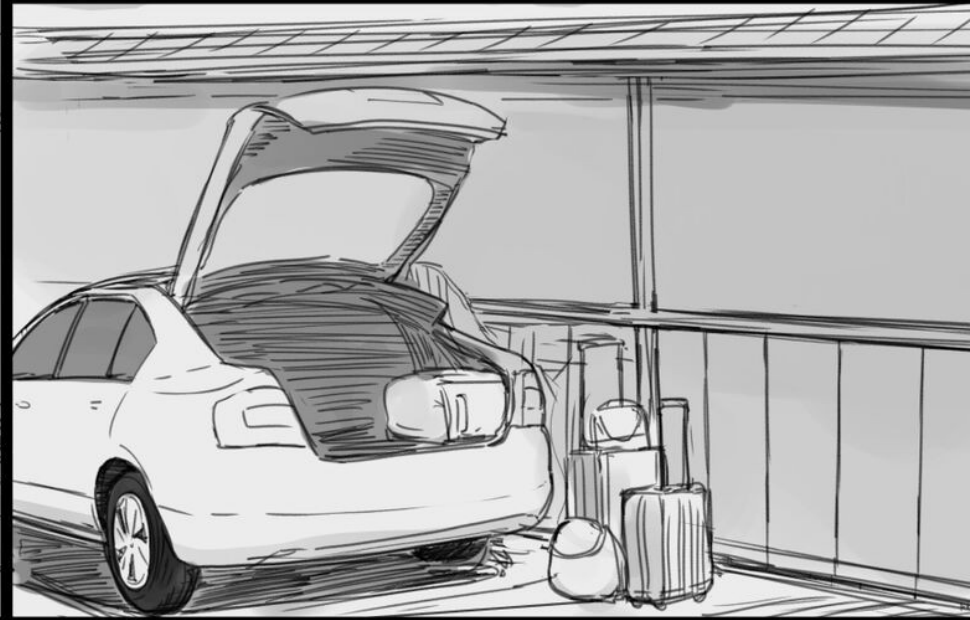
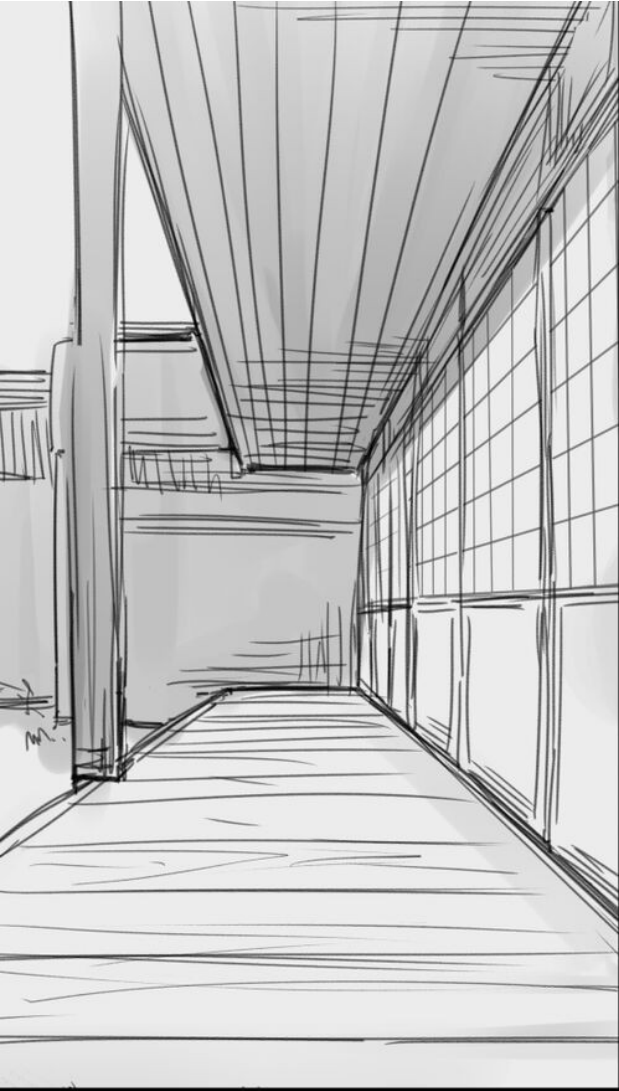
最悪な気持ちを

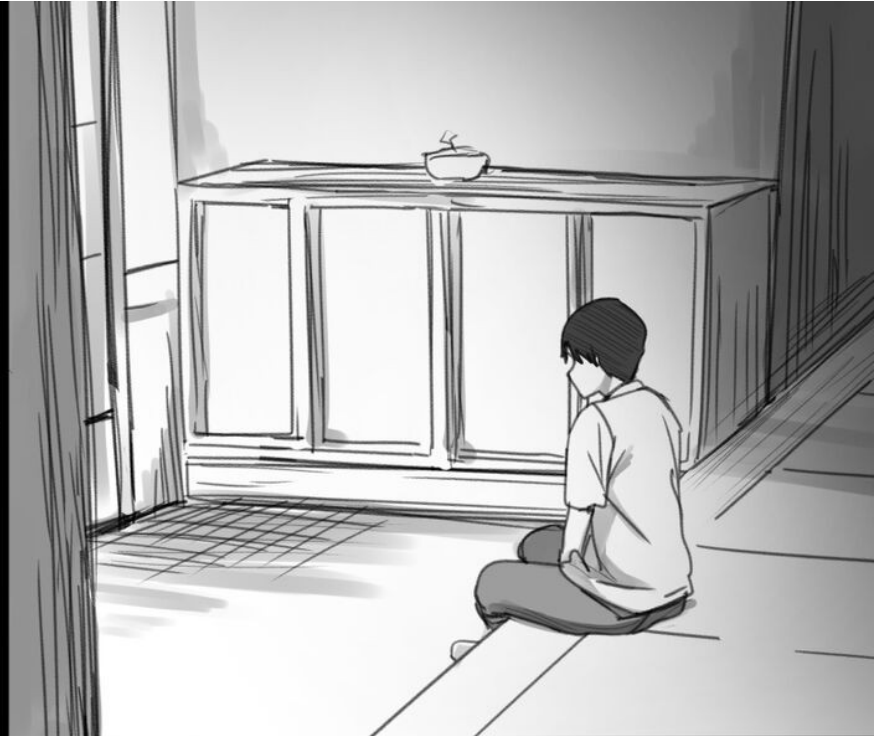
抱かせてくれる



今だって

こんなに





ほっ
ん、



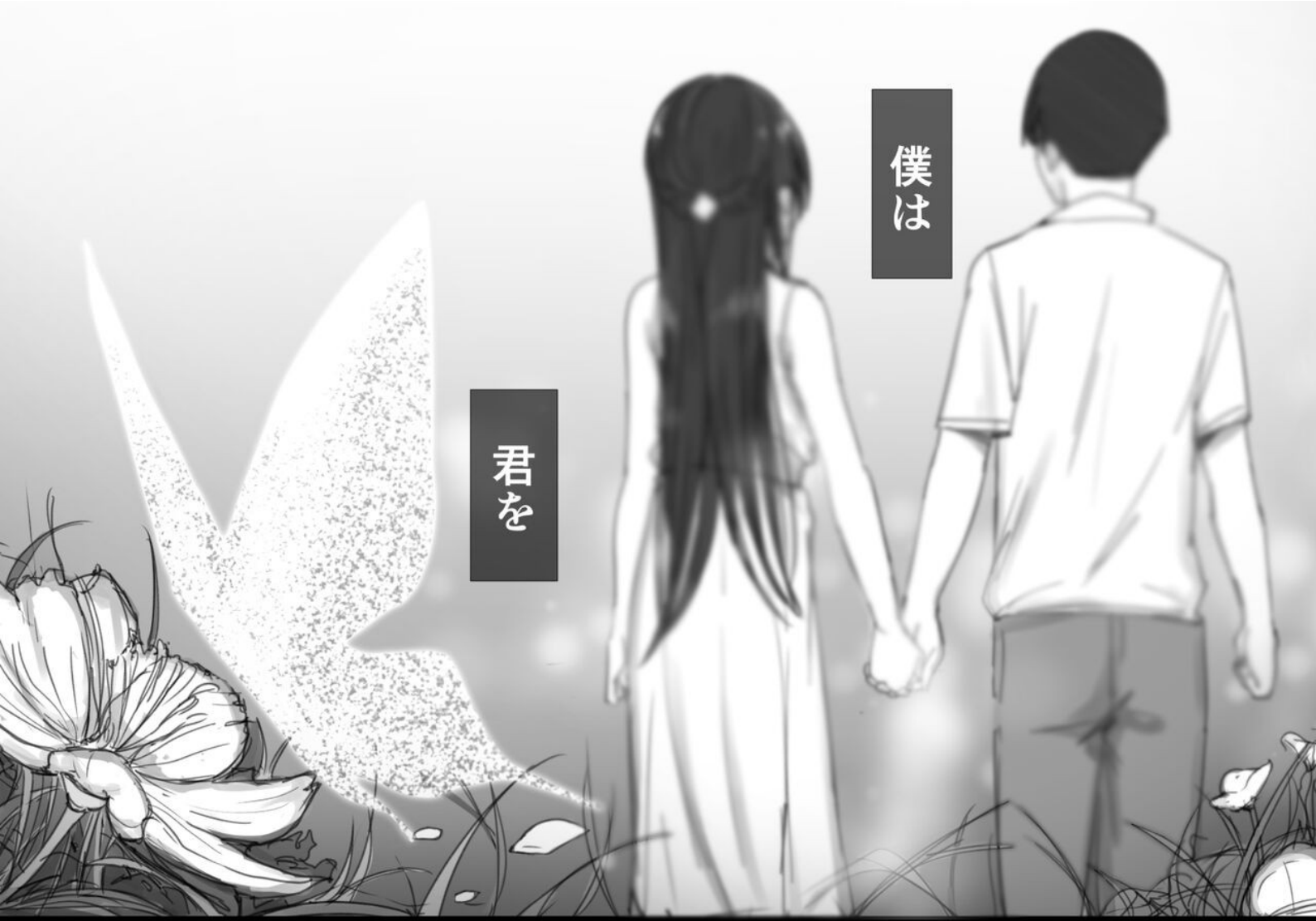
僕の心を

かき乱してくれる



そして

いつだって君は



僕は

君を



愛してる



◆あしがき◆

この度は当サークルの作品を購入いただき誠にありがとうございます。

前作と合わせて過去最長編の物語となりましたがいかがでしたでしょうか
意図せず次男編に続きそうな流れでもあります果たして続くのでしょうか
この先はノープランなので分かりませんが…

とりあえずはここで一区切りとして…

何れにしてもここ数年はキャパオーバー気味なので少し休んで次何するか
考えたいところであります。引き続き感想等お待ちしております。

それではまたどこかの機会で！

はりぽてと